

# 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人 谷岡学園  
〈大阪緑涼高等学校〉

# 学校法人谷岡学園 令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 1 法人の概要

### 建学の理念

学校法人谷岡学園は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、それを(1)思いやりと礼節(2)基礎的実学(3)柔軟な思考力(4)楽しい生き方、と解釈しています。すなわち、まず人物的に優れ、社会に必要な知識・技能・資格を備え、かつそれを活用し得る広い視野・適応力・創造性を持つ、そして、何事にもプラス思考で取り組み、楽しい充実した生活を送ることのできる人材の養成を使命としています。

### 1 設置する学校・学部・学科等

#### (1)大阪商業大学

大学院	地域政策学研究所 地域経済政策専攻、経営革新専攻
経済学部	経済学科
総合経営学部	経営学科、商学科、公共経営学科(平成30年度より募集停止)
公共学部	公共学科

#### (2)神戸芸術工科大学

大学院	芸術工学研究科 芸術工学専攻、総合アート&デザイン専攻
芸術工学部	環境デザイン学科、プロダクト・インテリアデザイン学科 ファッションデザイン学科、ビジュアルデザイン学科 まんが表現学科、映像表現学科、アート・クラフト学科

(平成27年度より募集停止)

先端芸術学部	まんが表現学科、映像表現学科、クラフト・美術学科
--------	--------------------------

#### (3)大阪商業大学高等学校

全日制課程普通科

#### (4)大阪商業大学堺高等学校

全日制課程普通科

#### (5)大阪緑涼高等学校

全日制課程普通科  
全日制課程調理製菓科

#### (6)大阪商業大学附属幼稚園

## 2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況(令和5年5月1日現在)

### (1)大阪商業大学

※1…平成30年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 地域政策学研究所	地域経済政策専攻	博士前期課程	10	20	2	8
		博士後期課程	3	9	1	4
	経営革新専攻	修士課程	10	20	3	5
	計		23	49	6	17
経済学部	経済学科		300	1,200	350	1,397
	計		300	1,200	350	1,397
総合経営学部	経営学科		400	1,600	465	1,867
	商学科		150	600	179	736
	公共経営学科※1		—	—	—	1
	計		550	2,200	644	2,604
公共学部	公共学科		250	1,000	272	1,061
	計		250	1,000	272	1,061
合 計			1,123	4,449	1,272	5,079

### (2)神戸芸術工科大学

※1…平成27年度より募集停止

学部等	学科[専攻]		入学定員	収容定員	入学者数	学生数
大学院 芸術工学研究所	芸術工学専攻	博士後期課程	6	18	3	9
	総合アート&デザイン専攻	修士課程	27	54	43	86
	計		33	72	46	95
芸術工学部	環境デザイン学科		70	280	62	284
	プロダクト・インテリアデザイン学科		70	280	55	233
	ファッションデザイン学科		50	200	38	124
	ビジュアルデザイン学科		80	320	104	349
	まんが表現学科		45	180	71	228
	映像表現学科		45	180	77	272
	アート・クラフト学科		40	160	52	193
	計		400	1,600	459	1,683
先端芸術学部	まんが表現学科※1		—	—	—	—
	映像表現学科※1		—	—	—	1
	クラフト・美術学科※1		—	—	—	—
	計		—	—	—	1
合 計			433	1,672	505	1,779

### (3)大阪商業大学高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	325	465	1,189

(4)大阪商業大学堺高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	400	324	1,002

(5)大阪緑涼高等学校

課程・学科	募集定員	入学者数	生徒数
全日制課程 普通科	240	139	456
全日制課程 調理製菓科	60	48	177
合 計	300	187	633

(6)大阪商業大学附属幼稚園

保育年限	募集定員	収容定員	入園者数	園児数
3歳児(3年)、4歳児(2年)、5歳児(1年)	50	170	38	129

### 3 役員・教職員の人数

#### (1) 役員(令和5年5月1日現在)

理事	理事長	谷岡一郎	監事	岡山栄雄
	理事	谷岡辰郎	監事	西村義明
	理事	佐藤優		
	理事	佐藤賢治		
	理事	常岡裕之		
	理事	加藤幸江		
	理事	片山隆男		
	理事	板倉龍介		

#### (2) 評議員(令和5年5月1日現在) 20名

西本真治	的場啓一	高岸暎治	神戸直樹	谷岡一郎	片山隆男
佐藤優	谷岡辰郎	板倉龍介	好永保宣	岩田康宏	常岡裕之
佐藤賢治	寺田全輝	谷岡瑞子	渡辺真一郎	安藏伸治	小守良昌
加藤幸江	南方建明				

#### (3) 責任限定契約について

寄附行為第19条に基づき、令和5年5月1日現在、次のとおり責任限定契約を締結しています。

##### ○対象役員氏名

(非業務執行理事) 加藤幸江 板倉龍介  
(監事) 岡山栄雄 西村義明

##### ○契約内容の概要

当該役員が本学園の役員として遂行した職務に関して、私立学校法第44条の2第1項に基づく損害賠償責任を負う場合、当該役員がその職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、私立学校法その他の法令が定める最低責任限度額をもって、当該役員の本学園に対する損害賠償責任の額の上限とし、当該上限を超える部分については、責任を負わないものとする。

##### ○契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

上記契約内容のとおり。

#### (4) 役員賠償責任保険契約について

令和5年1月26日理事会決議に基づき、令和5年4月1日付で役員賠償責任保険に加入しました。

##### ○被保険者

理事・監事・評議員

##### ○契約内容の概要

保険名称: 私大協役員賠償責任保険制度

団体契約者: 日本私立大学協会

補償内容: (個人に関する補償)

- ・法律上の損害賠償金
- ・争訟費用
- ・損害賠償請求対応費用
- ・公的調査等対応費用
- ・刑事手続対応費用
- ・財産又は地位の保全手続等対応費用
- ・信頼回復広告費用

(法人に関する補償)

- ・法人内調査費用
- ・第三者委員会設置・活動費用

支払限度額:1億円(免責金額0円)

契約期間:令和5年4月1日～令和6年4月1日

○支払対象とならない主な場合

法律違反に起因する対象事由等。

**(5)教職員(令和5年5月1日現在)**

学校名	教員・研究員	職員	合計
大阪商業大学	207(99)	157(18)	364(117)
神戸芸術工科大学	196(101)	75(16)	271(117)
大阪商業大学高等学校	125(42)	13(1)	138(43)
大阪商業大学堺高等学校	101(31)	15(2)	116(33)
大阪緑涼高等学校	99(42)	14(2)	113(44)
大阪商業大学附属幼稚園	18(3)	3(1)	21(4)
合計	746(318)	277(40)	1,023(358)

※( )は非常勤教職員(内数)、法人職員は大阪商業大学に含む。(役員関係及び兼務者は除く。)

## 2 事業の概要

### 大阪緑涼高等学校

#### (1) 学校基本領域

建学の理念「世に役立つ人物の養成」に基づき、学校行事や理事長講演及び日常の学校生活を通して、自校教育や4つの柱の理解と実践を生徒たちに伝えました。特に、「思いやりと礼節」については、コロナの影響も少なくなり、挨拶を励行する生徒が増え明るい学校になっています。また、藤井寺市との地域連携協定を活かし地域に信頼される学校になるよう実践しました。しかし、志願者は専願169名・併願382名、入学者は186名であり、昨年度と比較し専願者は増えたものの、入学者は募集定員を大きく下回る結果となりました。2024（令和6）年度は、2023（令和5）年度に設定しました各コースのスクール・ポリシーを基本にし、生徒の成長が実感できるような教育活動を行い、募集活動にも繋げていきたいと考えています。

#### (2) 学習指導領域

各コースとも、生徒が「なりたい自分」になることができるようコースの特性に合わせ、基礎学力の定着を図ることに重点を置き、中学の学び直しを含め、放課後学習や学力補充を実施しました。欠点対象者補習については、全学年・全科目で学期末に実施することが定着しています。また、定期試験前には自発的に自習室や職員室前の長机で学習している生徒も多く見受けられるようになってきました。一方で学力不振の生徒には、指名による考査前の学力補充を行いました。1学年はタブレットの導入に伴い、授業外での主体的な学びについて検討し、スタディサプリやClassiの利用を勧め自学自習の習慣化を進めています。各種検定は、放課後の英検対策講座や朝の学習の時間での課題活動など、学校全体で取り組んでいます。期待していた結果が得られず、対応が必要になっています。

文理ハイレベルコースは、より高い目標へのこだわりは堅持しつつ、生徒一人ひとりの希望と学力に応じた指導を行いました。その結果、近畿大学・龍谷大学・関西外国語大学などに合格するなど、それぞれの希望進路に導くことができました。しかし、関西大学、関西学院大学、奈良県立医科大学、近畿大学薬学部など受験はしたが合格とはならず、難関大合格に向けた学習指導が必要になっています。

総合進学コースは「地域と社会」「言語と文化」「理数科学」「食と農マネジメント」「ビジネスと情報」の5系統となり、それぞれ総合的な探究の時間のシラバスの見直しと共に「分野別」における活動内容の明確化と「探究活動」の充実を図りました。

保育系進学コースは、保育技術認定1級の取得を目指した学習内容をバランスよく学ぶことで、保育士・幼稚園教諭に必要とされる基本的な知識や実践技術を身に付け、モチベーションの向上を図ることができました。また、地域や系列校の大阪商業大学附属幼稚園の協力のもと、5日間の保育実習や絵本の読み聞かせなどの体験学習を実施することで、未来の保育士・幼稚園教諭としての資質向上を図る機会を得ることができました。

調理製菓科は、第14回全国和菓子甲子園において、調理師コースの生徒が念願の初優勝に輝きました。調理師コースは、目標である全員調理師免許取得を達成。ふぐ調理師免許試験（希望制）には23名が受験し7名が合格しました（合格率30.4%）。専門調理師免許技術考査は20名が受験し全員が合格しました。総合調理実習では3年間の成果を調理師コースの保護者にも披露しました。製菓衛生師コースは、目標である製菓衛生師国家試験に全生徒30名が受験し26名の生徒が合格しました（合

格率 86.7%)。スイーツコンテストやパン販売など、これまでの教育活動を実施しました。特にパン販売については製菓衛生師コースの保護者にも初めて来校いただきました。

### (3) 生活指導領域

生活指導の最前線は担任であることを教職員に伝え、指導を行った担任が孤立しないよう学校全体で取り組み、生徒自身が自ら考え正しい行動ができるような指導を心掛けました。2024（令和6）年度の制服改定にあたり、生活指導内規の改訂を時代に沿うように行いました。また、身嗜み指導のポイント制について、学年や生活指導部で検討し、2024（令和6）年度から新たな指導の方法を行うことを職員会議で確認しました。

遅刻指導は、その経緯や事情を踏まえつつ、月毎で遅刻回数に基づく指導を行っています。一方で、8時30分からの「朝の読書（学習）」については、クラスによって習慣化ができておらず、遅刻の予防に役立っていませんでした。改善策として3学期以降、1学年は朝の学習の時間にタブレットでの個別学習を行い、8時30分登校の定着と、それによる遅刻の改善指導に取り組んでいます。

生徒会による「挨拶の励行」「校内美化」など自らの生活を律する活動に取り組み、更には、11月に運動部による学校周辺の一斉清掃の取組みにおいて、「校内美化」だけでなく、地域の美化・景観保全にも貢献しました。今後も学校行事を中心に、生徒会が活発に活動できるように指導を行っていきます。

昨年度同様、男女1名ずつのカウンセラーを配置し、課題を抱える生徒にカウンセリングが行える体制を整えています。また、不登校生等委員会において、各学年と保健室・管理職の情報共有と対応への協議を行い、生徒への登校支援を行いました。

いじめ問題について、年3回実施しているいじめアンケートをもとに関係委員会や学年・養護教諭・カウンセラー・管理職が情報共有し、早期発見・早期対応に取り組んでいます。

### (4) 進路指導領域

個々の進路目標に対応するよう、進路指導部と教科が共同し、コースの特徴を活かした補習や個別指導を行いました。その結果、進路実績は全卒業生のうち4年制大学は41.9%、短期大学は5.1%、専門学校は30.0%、就職は13.4%、その他9.6%という結果となりました。4年制大学は、昨年度と比べて協定校推薦（昨年度7名・今年度25名）および、一般選抜（昨年度19名・今年度30名）において合格者が増えています。短期大学は減少傾向にあり、専門学校は指定校推薦・総合型選抜を中心に一定数進学しています。また、2年次の理事長講演を始め、総合的な探究の時間での出前授業、キャンパスツアーおよび、系列校対象オープンキャンパス実施等の取組みにより、大阪商業大学が進路選択の一つとして生徒に認知されてきた結果として、大阪商業大学への進学が昨年度比2.2倍の20名へと増加しています。今後も、系列校としての進路指導を行います。

進路指導の過程で、教員間で進路情報を共有し、オープンキャンパスへの参加の呼びかけや、進路相談を積極的に実施しました。今後も、担任・学年・進路指導部が生徒の進路希望をより丁寧に把握し、目標に向け集団的に支えていきます。

コロナが終息し求人状況はかなり改善され、調理製菓科における就職希望先も多岐にわたるようになり、調理製菓科教員や担任・進路指導部員が様々な高校求人を集めることとなりました。今後も調理製菓科教員のネットワークを駆使し、生徒の希望にかなった就職先決定に繋げていきたいと考えています。また、ホテル・レストラン・ベーカリーでのインターンシップや職場見学から進路を選択していくケースも少なからずあり、今後も継続的に実施していきます。

### (5) 入試・渉外領域

2024（令和6）年度入試は、調理製菓科の受験科目と特待生制度を見直し、募集定員240名で実施しました。結果は186名入学と昨年度より1名減となりました。特に近隣公立高校の定員割れが多く併願の戻りは2名にとどまりました。

募集活動は、企画広報部と入試渉外委員会が中心となり、教職員全員で本校教育の魅力や教育内容が伝わるよう積極的に行いました。2022（令和4）年度は、オープンスクール参加者に対して、入試説明会の参加者が少なかったことから原因を分析し、2023（令和5）年度のオープンスクールは、満足して帰宅していただく為に、中学生及び保護者が興味を持ったコースの説明のみ各ブースで受けることができる形式に変更し、タイムパフォーマンスを向上させました。その結果、昨年度比入試説明会で16組、個別相談会で31組の増加がみられました。

中学校対象説明会は30校（昨年32校）、塾対象説明会58塾（昨年45塾）の参加があり、塾においては、訪問塾数を増やした結果と考えられます。

受け入れ授業については10校（松原・松原第二・松原第四・松原第五・松原第七・桂・峰塚・三郷・富田林第一・道明寺）、出前授業については8校（松原第三・蒲生・八尾大正・誉田・藤井寺第三・埴生学園・富田林第一・大正中央）で実施しました。

2024（令和6）年度は、3学期に発足したMiRISE（本校の魅力を生徒主体でPRする活動団体）を中学生やその保護者から目標となる集団になるように指導し、生徒主体で動く広報活動を行います。

#### **(6) 教員の研修・研究領域**

2023（令和5）年度より私学マネジメント協会の会員となり、同協会主催の研修会に積極的に参加し、学年・分掌でのフィードバックを行いました。また、校内では、常勤講師を対象に10回の研修会を行いました。2024（令和6）年度は研修内容によって、常勤講師に限定せず教員全員を対象にして研修実施を予定しております。また、一昨年度導入したICT機器について、デバイスやアプリケーション使用の状況を確認し、すべての教員が利活用できるように研修を実施しました。公開授業を年2回実施し、教科内で意見交換すると共に、授業アンケートを実施し授業展開や教授法の確認と技術の向上に注力しました。

#### **(7) 経営領域**

調理製菓科について、入試科目数及び特待生制度を変更し募集定員を充足しました。保育系進学コースについて、2023（令和5）年度はコースを維持したまま総合進学コースとの合同クラスを編成しました。総合進学コースへ系統として統合することを検討しましたが、最終的に系統としての授業実施を考えると現状と費用面で大差がなく、コースが無くなることによる保育系進学コースの認知度の低下が、さらに募集状況の悪化に繋がると考えています。現状での喫緊の課題は文理ハイレベルコースの存続ですが、コース制を導入するうえで学習に特化したコースが存在しないのは、学習面を軽視している学校のような印象を保護者に与えてしまいます。これは、経営上得策ではありません。今後は如何にして進路実績を上げて入学者数を増やすかが課題になり、コース委員会や進路指導部と検討を重ねていきます。更に、図書館棟（4号館）の活用です。図書館機能を別の場所に移動することができず、3階以上の部屋が活用できていません。それにも拘らず維持費が経営を圧迫しています。

#### **(8) その他の領域**

藤井寺市の連携事業として、保育系進学コースの生徒が藤井寺市立図書館で絵本の読み聞かせを実施し、藤井寺市立第一・第三保育所の幼児が来校した際の観察・ふれあい実習等を行いました。地域の各種団体から本校へイベント等への参加依頼もあり、できる範囲で参加しました。今後も地域との

繋がりを大切に地域に貢献できる学校運営を行います。

保護者会・ふじなみ会（同窓会）の活動は、コロナの終息に伴い活発に活動しています。ふじなみ会総会は、数年ぶりの開催となり、理事長をお招きし本校にて実施しました。

学校関係者評価をお願いしている藤井寺市区長会会長・春日丘区長・藤井寺市教育長・辛国神社宮司を各行事、緑涼祭などに招待し、本校生徒の様子を実際に見てもらう機会を設定しました。学校関係者評価では、そうした実際の活動も含め多くのご意見をいただくことができました。

教職員の労務に関しては、コロナ禍で実践した生徒の完全下校時間・教員の最終退館時間を継続して実施しています。衛生委員会を定期的に開催し、健康診断の結果を基に、産業医と相談し教職員への再検査勧告を実施しました。4月実施のストレスチェックを衛生委員会で検討し、2024（令和6）年度は6月に実施することとしました。

### 3 財務情報

資金収支内訳表  
令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科目	部門	大阪緑涼高等学校
学生生徒等納付金収入		276,065,299
手数料収入		11,241,700
寄付金収入		0
補助金収入		353,612,217
国庫補助金収入		1,128,000
地方公共団体補助金収入		224,764,516
地方公共団体授業料軽減補助金収入		127,719,701
資産売却収入		0
付随事業・収益事業収入		60,100
受取利息・配当金収入		5,877
雑収入		29,941,641
借入金等収入		0
計		670,926,834

支出の部

科目	部門	大阪緑涼高等学校
人件費支出		605,551,898
教育研究経費支出		172,316,485
管理経費支出		39,609,527
借入金等利息支出		0
借入金等返済支出		0
施設関係支出		1,349,270
設備関係支出		5,358,434
計		824,185,614

事業活動収支内訳表

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目		部 門	
		大 阪 緑 涼 高 等 学 校	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	276,065,299
		手数料	11,241,700
		寄付金	0
		経常費等補助金	352,484,217
		付随事業収入	60,100
		雑収入	29,941,641
		教育活動収入計	669,792,957
	支事業の活動部	人件費	631,426,004
		教育研究経費	295,331,395
		管理経費	48,785,729
教育活動支出計		975,543,128	
教育活動収支差額		△ 305,750,171	
教育活動外収支	収事業の活動部	受取利息・配当金	5,877
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	5,877
	支事業の活動部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額		5,877	
経常収支差額		△ 305,744,294	
特別収支	収事業の活動部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	1,608,150
		特別収入計	1,608,150
	支事業の活動部	資産処分差額	1,282,616
		その他の特別支出	0
		特別支出計	1,282,616
特別収支差額		325,534	
基本金組入前当年度収支差額		△ 305,418,760	
基本金組入額合計		0	
当年度収支差額		△ 305,418,760	
前年度繰越収支差額		△ 11,477,032,606	
基本金取崩額		1,718,450	
翌年度繰越収支差額		△ 11,780,732,916	
(参考)			
事業活動収入計		671,406,984	
事業活動支出計		976,825,744	

※人件費、管理経費には、法人経費が含まれています。